



△そうそう、型彫りはゆっくりしていねいに……



△手を動かさずに、型紙を動かすのがコツよ

# 郷土に根づく

## 「富士の型染」を

郷土の伝統工芸として着々と根づいてきた「富士の型染<sup>かたほ</sup>」。この型染の体験学習会が、9月13日、市立博物館で富士の型染グループ（小山もと子代表）の指導のもとに開かれました。参加した主婦ら22人は、型彫り<sup>かたほ</sup>—糊置き<sup>のりお</sup>—色さし・地染めなどの工程に従い、なれない手つきながらアサガオ模様のランチョマットを仕上げました。



△糊置きは型染のポイントよ



△糊がついたら静かにはがします



△顔料を豆汁で溶いて染めます



△はみ出さないように慎重に……



「富士の型染」は、型紙を用いて模様を染め出す染色法です。江戸小紋、型友禅などと同じ型染のなかまでです。山麓の草木、栗、タマネギなどを染料に、着物、帯、カレンダー、年賀状まで幅広く染めることができます。



△タマネギのエキスで地染めをします

# 伝統工芸

## 体験学習



△挑戦すること7時間、ついに完成

